

12月にSGH特別講座を実施しました。

SGH特別講座 ～日本の国際貢献・国際理解、人権を考える～

平成30年1月29日（月） 15:40～17:00 時習館高校 視聴覚教室

《目的》

授業後の時間を利用し、講師による講話を聞き、ディスカッションを行うことで、課題研究テーマへの興味・関心を喚起し、課題研究テーマの5分野の中で、特に「**日本の国際貢献・国際理解**」について理解の深化をめざす。

《講師》 山下瑛梨奈 氏

* 愛知県西尾市生まれ。現在、公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本キャンペーン担当。同志社大学法学部法律学科卒。マンチェスター大学大学院より国際政治学部（国際関係学科）の修士号を取得。民間企業を経て、2013年8月より現職。キャンペーン・コーディネーターとして、国内外の人権問題を市民に伝え、人権擁護のための市民の行動を引き起こすためのイベント、セミナー、シンポジウムの企画・実施、各国政府・自治体への政策提言、学校講演などを担当。



《演題》「ジェンダーと人権」

団体の活動内容や、**人権問題**、**ジェンダー差別**を考える上で基本的な知識を教えていただいた後、グループワークを行い、職業選択や家庭での役割など身近なところに**ジェンダー・ステレオタイプ**やジェンダーにまつわる偏見が潜んでいることを理解した。最後に、世界におけるジェンダー差別の事例を二つ取り上げ、**グループディスカッション**を行い、何が問題であるか、そして、世界の人権問題の解決のために、**日本にいる私たちには何ができるか**を議論した。

[参加生徒の感想]

外科医 = 男性など自分の中にある無意識の男女のくり、偏見に気づいた。自分の偏見を見つめることが大切だと学んだ。

身近なところでも「男だから…」「女だから…」と思うことをなくしていきたい。

世界にはまだ差別が根強く残っている地域もあり、それらを完全になくすのはとても大変なことだと感じた。

グループディスカッションの様子



ジェンダーの問題は、私たちの身の回りにはびこっているため、他人事ではなく「自分事」として考えることが大切だと思った。